

## 名古屋市産業振興ビジョン 2020 用語集

### ●3Dプリンター p49

立体形状を表すデータをもとに、樹脂や金属等の材料を用いて造形する装置の一つ。デジタルデータを立体造形物として簡便に実体化・可視化できる。

### ●ICT p7、26、40、41、47

Information and Communication Technology の略。情報・通信に関する技術の総称。従来から使われている「IT (Information Technology)」に代わる言葉として使われている。

### ●IoT p25、37、40、41、48

Internet of Things の略。モノのインターネット。コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体（モノ）に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信したりすることにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと。

### ●MICE p40、41、49、50、52

MICEとは、企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（インセンティブ旅行）（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字のこと。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

### ●M字カーブ p34

日本における女性の年齢階級別労働力率をグラフで表したときに描かれるM字型の曲線をいう。出産・育児期にあたる30歳代で就業率が落ち込み、子育てが一段落した後には再就職する人が多いことを反映している。

### ●Wi-Fi p26

無線通信の国際標準通信規格で、IEEE 802.11 シリーズを利用した無線通信のこと。業界団体の Wi-Fi Alliance が発行しており、相互接続性などに関する試験をパスした装置には、このロゴの表示が許可されている。

### ●あいちロボット産業クラスター推進協議会 p47

産学行政が連携して、ロボットの研究開発や生産の拠点を形成し、新技術・新製品を創出していくことにより、世界に誇れるロボット産業拠点の形成を目指すことを目的に平成26年11月に発足。

### ●愛知・名古屋国際ビジネス・アクセス・センター（I-BAC） p57

外資系企業受入れのための地域のワンストップサービス機関であり、本市始め愛知県や名古屋港管理組合、名古屋商工会議所など様々な関係機関で構成された団体。

●アウトソーシング p7

企業が自社の業務を外部の専門業者などに委託すること。

●アプリ p26

アプリケーションソフトウェアの略。特定の用途や目的のために作られた、コンピュータのソフトウェア。

●イノベーション p10、50、52、55

技術革新。新機軸。経済成長の原動力となる革新。

●インキュベート施設 p64、65

新たに設立された競争力の弱い企業や事業者、国や地方自治体などが技術、人材、資金の各方面から支援するため、そうした事業者を優先的に入居させる施設。

●インセンティブ制度 p57

人や組織のものごとに取り組む意欲を誘引する制度。

●インターンシップ p67、69、70

学生が企業等において実習・研修的な就業体験をする制度のこと。

●オープンイノベーション p56

新技術・新製品の開発に際して、組織の枠組みを越え、広く知識・技術の結集を図ること。一例として、産学官連携プロジェクトや異業種交流プロジェクト、大企業とベンチャー企業による共同研究などが挙げられる。

●オピニオンリーダー p58

周囲の人や所属する集団の意見や意思決定、選好などに強い影響を及ぼしている人物。

●キャリア p26

通信業界では、回線事業者のこと。自ら回線や交換器、電波周波数帯、基地局などを保有し、加入者に回線を提供するサービスを行なっている事業者を指す。

●緊急雇用創出事業 p3

雇用情勢の悪化に対応するため、国の「緊急雇用創出事業臨時特例交付金」を財源として「緊急雇用創出事業基金」を造成し、非正規労働者、中高年齢者及び未就職卒業者に対して就職支援を行う事業。

●クラウドファンディング p65

ある目的、志などのため不特定多数の人から資金を集める行為、またそのためのネットサービスのこと。

●クリエイション・コア名古屋 p19

名古屋地区における新事業・新製品・高度技術等に関する研究開発や新分野への事業

展開などを行うベンチャー企業・中小企業等を支援するために独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営する賃貸型施設。

### ●景況感 p28

景気の状態に対する印象。企業や消費者が、現在の景気の状態を以前と比較して、好転している、悪化している、停滞しているなど、どのように感じているかということ。

### ●研究開発センター p19

なごやサイエンスパークの中核施設で、国立研究開発法人理化学研究所や地域の研究機関による先端技術に関する研究の拠点。

### ●高機能素材 p40、41、49

既存の製品にはない優れた機能・性能を備えた、紙・繊維・プラスチック・ガラス・金属などの産業用素材。

### ●国際戦略総合特区「アジアNo.1 航空宇宙産業クラスター形成特区」 p43、53

我が国の経済成長のエンジンとなる産業・機能の集積拠点の形成を目的とした国際戦略総合特区として、平成23年12月に指定。地域の産学行政が連携し、特区の支援メニューである規制の特例措置、税制・財政・金融上の支援措置を活用しつつ、研究開発から設計、製造、保守管理までの一貫体制を持つアジア最大・最強の航空宇宙産業クラスターの形成を目指す。

### ●コミュニケーションロボット p25

人間とコミュニケーションを行うことを主目的として設計されたロボット。

### ●コンテンツ産業 p49

映像（映画、アニメ、TV番組）、音楽、ゲーム、書籍等の制作・流通を担う産業の総称。

### ●サーバー p25

コンピュータネットワーク上で他のコンピュータにファイルやデータを提供するコンピュータ、またそのプログラムをいう。

### ●サイエンス交流プラザ p19

サイエンスパークに集積した研究機関、大学、企業の研究者との連携交流を目的とした総合窓口として整備された複合型施設。

### ●少年少女発明クラブ p3、69、70

公益社団法人発明協会が、青少年の自由闊達な想像力を尊重し、科学技術に対する夢と情熱を育み、想像力豊かな人間形成を図ることを目的として行う事業。

### ●人工知能 p40、41、55

言語の理解や推論、問題解決などの知的行動を人間に代わってコンピュータに行わせる技術。AIとも呼ばれる。

●スタンパー p15

インキを内蔵したスタンプ台不要の浸透印。

●先端技術連携リサーチセンター p19、p49

産業界、大学、公的研究機関など、産・学・行政が連携する先端技術に関する研究施設。

●ソーシャルビジネス p64、65

地域社会の課題解決に向けて、住民、NPO、企業など、様々な主体が協力しながらビジネスの手法を活用して取り組むこと。

●ソーシャルビジネスサポートあいち p65

創業前からスタートアップ期にあるソーシャルビジネスを営む方を対象に、多面的な支援を行うことを目的に組成されたネットワーク。

●第2次産業 p7

鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、製造業。

●第3次産業 p7

電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、医療、福祉、複合サービス事業、サービス業（他に分類されないもの）、公務（他に分類されるものを除く）。

●大学のキャリアセンター p22

大学の就職課。自校の学生の就職をサポートするため、大学が設置している部署。

●大学発ベンチャー p15

大学の教員、研究者、学生が、開発した技術を用いて事業化する企業のこと。

●中部医療機器工業協会 p44

平成2年11月に発足した医療機器を製造、製造販売する企業の団体。

●中部先端医療開発円環コンソーシアム p44

「中部地域の大学が協働して、社会のニーズに応えた新たな医療技術や医療機器を迅速に開発し、いち早く患者に提供する。もって我が国のみならず人類の健康と平和に貢献すること」を目的に、名古屋市立大学、名古屋大学を含む10大学と、国立長寿医療研究センターと名古屋医療センターの、12施設が結集したコンソーシアム。平成24年4月に発足。

●テクノヒル名古屋 p19

名古屋市が推進している研究開発型企业団地。

**●なごやジョブサポートセンター（「なごジョブ」） p2、3、22**

名古屋で就職したい求職者や、名古屋で求人したい企業を支援するため開設。幅広い求職者のニーズに合わせた総合就職相談窓口、就職準備セミナーなどを行っている。

**●ナノテクノロジー p40、41**

ナノ（10億分の1）メートルの精度を扱う技術の総称。マイクロマシンなどの加工・計測技術だけでなく、新素材の開発などをも含めている。

**●ニート p68**

若年無業者のこと。若年無業者とは、15～34歳の非労働力人口のうち、通学、家事を行っていない者をいう。

**●燃料電池 p40、41**

正極に酸素または空気、負極に水素・アルコール・炭化水素などを用いた発電装置。温室効果ガスとなる二酸化炭素や大気汚染の原因となる窒素酸化物を排出しないという利点が注目される。

**●燃料電池自動車 p46**

搭載した燃料電池で水素と酸素を化学反応させて発電し、その電力でモーターを回して走行する車。

**●バーチャル化 p25**

仮想化。コンピュータや記憶装置、ネットワークなどのコンピュータ資源を、実際の物理的な構成とは異なるもののように見せかけて動作させること。

**●バイオ p40、41、49**

バイオテクノロジーの略。生物の行う化学反応、あるいはその機能を工業的に利用・応用する技術。遺伝子の組み換え、細胞融合や酵素を扱う技術が含まれ、発酵・新品種育成・環境浄化などに利用。生命工学。生物工学。

**●ハイブリッド自動車 p25**

複数の動力源を用いて走行する自動車。

**●ビジネスマッチング p3**

企業の事業展開を支援する等の目的で、事業パートナーとの出会いをサポートするサービスのこと。

**●ファインセラミックス p10**

セラミックスのうち、アルミナなど精製された原料を用いて、耐熱性・耐薬品性・絶縁性・半導体性その他特定の機能を持ち、精密機械・半導体・医療用などの材料として開発されたもの。

●付加価値額 p52

生産活動によって新たに付加された価値のこと。製造品出荷額から原材料として中間投入された金額を除いたものが付加価値額となる。

●プラグイン・ハイブリッド自動車 p25

コンセントから差込プラグを用いて直接バッテリーに充電できるハイブリッドカー。

●プラズマ p40、41

気体が高度に電離した状態。高温ではすべての原子が電子と陽イオンに電離し、電気伝導性のよいプラズマになる。

●プラズマ技術産業応用センター p55

公益財団法人名古屋産業振興公社が研究成果を中心に、中小企業でも利用できる機器と、サポートする研究スタッフを配置し、プラズマ技術の中小企業等への産業応用を支援するため設立したセンター。

●ホスピタリティ p58

心のこもったもてなし。手厚いもてなし。歓待。また、歓待の精神。

●メディカル・デバイス産業振興協議会 p44、54

産学官の力を結集し、名古屋地域を中心としたモノづくりの力を医療機器産業の振興に活かすべく、平成24年6月に結成。前身は名古屋商工会議所「メディカル・デバイス産業振興研究会」。

●モビリティ p25

ITの分野では、情報機器や通信サービス、情報システムなどが移動中や外出先で普段と変わらず利用できることや、その度合いの高さを意味する。

●有効求人倍率 p9、33

全国の公共職業安定所に申し込まれている求職者数に対する求人数の割合。有効求人数（前々月からの求人数）を有効求職者数（前々月からの求職者数とそれ以前からの雇用保険受給者数の合計）で除したものの。

●リーマンショック p4、9

平成20年9月に米国の名門投資銀行であるリーマン・ブラザーズが破綻したことを、これが世界的な金融危機の引き金となったことに照らして呼ぶ表現。

●ワーク・ライフ・バランス p35、66、67、69

労働者一人ひとりが自らのライフスタイルに応じて、仕事と家庭生活、地域生活、自己啓発などのさまざまな活動について、多様な柔軟な働き方とおして、バランスよく進めていくこと。

## 参考 策定の経緯

名古屋市産業振興ビジョン 2020 の策定にあたっては、「名古屋市次期産業振興計画検討会議」を開催し、将来を見据えた名古屋市の産業振興施策及び就労支援施策の戦略的な推進を図るため、現状の課題と、今後取り組むべき施策の基本的な方向性等について意見交換を行ったほか、パブリックコメントを実施し広く市民の意見をお聞きして策定しました。

### ◆名古屋市次期産業振興計画検討会議

開催回	開催日	内 容
第1回	平成 27 年 7 月 7 日	現状と課題の整理と次期計画の方向性について
第2回	平成 27 年 8 月 31 日	次期計画骨子（案）について
第3回	平成 27 年 11 月 12 日	次期計画（中間案）について
第4回	平成 28 年 3 月 22 日	次期計画（案）について

### ◆名古屋市次期産業振興計画検討会議 委員

氏 名	役 職	備 考
伊藤 豪	名古屋商工協同組合協会会長	
鶴飼 宏成	愛知学院大学経営学部教授	
江龍 修	名古屋工業大学副学長	副座長
大津たまみ	株式会社アクションパワー代表取締役	
小山 和久	愛知県産業労働部長	
加藤 明彦	愛知中小企業家同友会代表理事	
黒田 達朗	名古屋大学大学院環境学研究科教授	座 長
澁谷 浩 (藪内 雅幸)	中部経済産業局総務企画部長	
白上 昌子	特定非営利活動法人アスクネット代表理事	
田中 豊	名古屋商工会議所企画振興部長	
増田 晃	一般社団法人名古屋銀行協会専務理事	
宮村 喜明	名古屋市市民経済局長	
三輪 宗文	愛知労働局職業安定部長	
村田 純一	一般社団法人中部経済連合会企画部長	
山田 孝	日本ガイシ株式会社経営企画室長	
山本 陽子	名古屋市立大学大学院経済学研究科教授	

(五十音順、敬称略。委員交代があった場合は旧委員を ( ) 書きとした)

## ◆名古屋市産業振興ビジョン 2020 (案) に関するパブリックコメント

平成 27 年 12 月 25 日から平成 28 年 1 月 25 日まで、ビジョン案および概要版の冊子を区役所情報コーナーなどに配架し、郵送、ファクシミリ、電子メールなどにより市民意見を募集しました。

1 意見提出状況	意見提出者数	17 人
	意見総数	73 件

## 2 市民意見の内訳

項 目	意見数
I 総論	6 件
II 本市が目指す発展の姿	8 件
III 施策の方向性	46 件
プロジェクト 1 「だれもが新たな価値を生み出せるまち名古屋」の実現	22 件
プロジェクト 2 「だれもがビジネスに挑戦できるまち名古屋」の実現	15 件
プロジェクト 3 「だれもがいいきと働き輝けるまち名古屋」の実現	9 件
IV 推進体制	5 件
V その他	8 件
合 計	73 件



---

---

## 名古屋市産業振興ビジョン 2020

平成 28 年 3 月発行

発行・編集 名古屋市市民経済局産業部産業労働課  
〒 460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 1 号  
電話 (052)972-2412 (直通) F A X (052)972-4139  
メールアドレス a2412@shiminkeizai.city.nagoya.lg.jp

発行部数 500 部  
配布対象 一般・特定・庁内

---

---

この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。